

来年もきちんと来ますように



みん
つ
ど

第一二号

印刷集
天地
セルブ
周成行

村岡鍼灸治療院

山口市湯田温泉5丁目6の12

みなさま、春ですが、あけましておめでとうござります。本年も「みんつど」をよろしくお願いいいたします。

表紙は、みんつどスタッフの楽描（らくが）きイラストレーターの金光光雄の作品です。新型コロナウイルスに負けず、来年もみなさまで迎えられる正月をイメージして書いてくれました。

今年もみなさまのお力を借りて、できれば編集スタッフも増やしていくたいな！」と考えます。意見など積極的に受け付けておりますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

山口県周南市在住の統合失調症当事者で、社会福祉士と精神保健福祉士の資格をもつ、ミスター・エックスによる当事者からの悩み相談コーナーの第二弾です。おかげさまで第一弾でみなさんの関心が高まっているコーナーです。今後とも、心の病に関する事であれば、ミスター・エックスがこたえてくれます。今回は服薬に関しての相談です。

当事者精神保健福祉士・ミスター・エックス（高齢）の悩み相談

薬をやめたい、減らしたい

私も経験済みで ぜひ飲み続けて

④ 薬を減らそうとし

たり、止めようとしたり
しようとする自分が怖い
です。どう思いますか？

（県中部さん）

⑤ 私の経験をもって
回答とさせていただきま
すね。実は私も断薬した
ことがあります。しかも
資格をとったあとでした。
薬なしでもやつていける

と思つて……。

しかし。一ヶ月か二か
月の間眠れませんでした。

二十代で発症して普通の
生活をしていたのに、昔
のことを見たときに、昔
クしてしまいました。そ
して二か月入院するハメ
に（笑）。それで病院も
変わりました。その時の
主治医がよかったです。

看護師や介護士が退院す
るときは反対する中で退
院させてくれました。

その主治医は話をして
希望すれば薬を減らして
くれました。彼は病院の
中では浮いた存在でした。
でも退院後は安定して
います。そしてその主治
医は病院の方針と合わず
にやめていってしまいました

した。

質問待ちます

編集長エツセイ
私はミスター・エックスではない

最近の私は躁鬱の波が小刻みで激しく大変である。
昨日も調子が大変悪く寝込んでしまい、母が足裏に
毒素を排出するシートを貼つて夕方寝付いた。深夜目
覚めではがすとものすごい量がとれていてびっくりし
た。

出会い通信からみんづどへ媒体変更して、読者も定
着していく中で、さまざまな心の病を持つ方や親御さ
んと会う機会が増えた。大変好ましいことはあるが、
たまに背負いすぎて自分自身も病をもつたものという
感覚を忘れて必死にお世話することとなり、その反
動がやってくることも増えた。同じ（ような）病だから
先輩としてなんとかしてあげたい、と頑張り健全な
お付き合いができる。そして自分が体調を崩す。まつ
たく何年経っても進歩がない私である。

一方、みんづどに参加してくれる人も増えてきたが、
なかなか掲載に至らないケースもちらほらでてきて、
精神の病の匿名性などが邪魔している。本当に根が深
い問題である。

時に、第一号の感想でミスター・エックスが天地であ
るのでは？ という指摘を数件いただいた。違う。ミ
スター・エックスも自分の名前を出せないので。私がミ
スター・エックスに議題をもつて訪れてお話を聴き、書
きとつてから原稿にしているのだ。それをわかつても
らいたい。結構苦労してるのよ（笑） （天地成行）

ミスター・エックスのプロファイル

レストハウス 岩国市川西4の5の156

周南市在住の高齢男性。
健福祉士と社会福祉士の資格を取得する。好物は
フルーツ。
二十代で統合失調症を発症する。五十代で精神保

フェスタ マルシェに

下関市で笑顔満開

2019年11月29日
（12月1日まで下関

広告募集中



市の商業施設で農福連携
マルシェが開かれ、多くの
客が県内の障がい者作
業所で作られた農作物や
加工品を買い求めた。写
真。

農業生産法人の代表が、
障がい者雇用について熱
心に担当者に話をもちか
ける場面などあつた。

◇

また12月15日には
同市で「第20回記念大

会 手をつなぐみんなの
福祉フェスタ」が開かれ、
全障がい者と健常者の垣
根なく、ステージでのイ
ベントやバザー、はづれ
くじなしの大抽選会で盛
り上がった。発起人の一
人の田辺よし子下関市議
会議員も「毎年恒例の人
数が集まつた。楽しい思
い出を共有でき、大成功
だつた」と満悦だつた。

24歳の時、統合失調症を発症した。僕は、決して
麻薬などを使用したことではないが、この妄想は薬を使つ
た時と似通つてゐるのでは? と思う。そう、この病
気は幻覚が出て、夢と現実の境がこんがらがつてしま
う病気なのである。空想は止められるが、病気による
妄想は止められない、と病院の看護師さんが言つてい
た。正にその通りである。ただ、妄想が「快」か「不
快」かと言えば、「快」の方が断然多かつたと思う。
そういう意味でも、やはり麻薬に近いのでは? と
思つてしまふのである。妄想している時は、気分がハ
イになつてしまつてゐるのである。

この病気を患つていた実際の人物で、ノーベル賞を
受賞した天才數学者のジョン・ナッシュを主人公にし
た映画が2001年に、アメリカで公開された。その
名は「ピューティフル・マインド」。この映画が世に
出たことにより、統合失調症などの精神障がい者への
偏見が減つていく事となる。本当に素晴らしいことだ
と思う。監督のロン・ハワードと、製作のブライアン・
グレイザーさんに賛辞をおくりたい。ちなみにこの映
画は、ラッセル・クロウが主人公を演じ、アカデミー
賞主要4部門を受賞した。この映画をおススメして筆
を置きたいと思う。ありがとうございます。(みんつ
どスタッフ、楽描きイラストレーター 金光光雄)

スタッフエッセイ

病気と私

24歳の時、統合失調症を発症した。僕は、決して

麻薬などを使用したことではないが、この妄想は薬を使つた時と似通つてゐるのでは? と思う。そう、この病

気は幻覚が出て、夢と現実の境がこんがらがつてしま
う病気なのである。空想は止められるが、病気による

妄想は止められない、と病院の看護師さんが言つてい
た。正にその通りである。ただ、妄想が「快」か「不
快」かと言えば、「快」の方が断然多かつたと思う。

そういう意味でも、やはり麻薬に近いのでは? と
思つてしまふのである。妄想している時は、気分がハ
イになつてしまつてゐるのである。

この病気を患つていた実際の人物で、ノーベル賞を
受賞した天才數学者のジョン・ナッシュを主人公にし
た映画が2001年に、アメリカで公開された。その
名は「ピューティフル・マインド」。この映画が世に
出たことにより、統合失調症などの精神障がい者への
偏見が減つていく事となる。本当に素晴らしいことだ
と思う。監督のロン・ハワードと、製作のブライアン・
グレイザーさんに賛辞をおくりたい。ちなみにこの映
画は、ラッセル・クロウが主人公を演じ、アカデミー
賞主要4部門を受賞した。この映画をおススメして筆
を置きたいと思う。ありがとうございます。(みんつ
どスタッフ、楽描きイラストレーター 金光光雄)

経済的な話をしよう

編集後記

お疲れさまです。

それは私のことでもあります。年末にパソコンが壊れ、作りかけていたデータがふつとび途方に

みんなどの第二号をのぞむ声が届き、広告もまた増えていくことで制作意欲もわき、なんとかかんとかここまでたどりつきました。またフォアボーレです。ヒットは打てませんでした（笑）。でも参加してくださった方々、見守ってくださる方々には感謝してもしきれません。ありがとうございま

深夜になると、メンター（指導者）の顧問の村岡

助言者になつてあげると
いいよ」という。

正さんに連絡してしまう。顧客が常態化してきた。顧客は当事者ながらばりばり日中は働いているからこの時間になることがしばしばだ。

彼は毎回私の相談に親身にのってくれる。そして、「アンタも心の方の

「私も相談を受けることがあるが、大体大きくは経済的なことだ。『傷病手当金』や『失業保険給付の延長』の存在を知らない人がいた。個人的にわなかつたが、三年は猶豫があるのだ。

入院でもらえた保険金も解約したあとで入院となり個人的にはさんざんないをしてきたので、私の話でさまざまな困っている人に話をあげたいと考える。

がい認定後に満額もられたはずの多額の金をパーソンにしてしまったことを赤裸々に明かし、今後「自分のように」ならないために、相談を多年にわたり引き受けってきたということ。

「では小便に」で二人の会話はいつも終了しますといふことになる。

父の援助により最新のパソコンが手に入り、最新のソフトを導入し編集再開。しかし勝手が違い、「どうしようか」「やめてしまおうか」と何度もこの間を考え、パソコンをさわることもためらつていきました。

創刊号にしては百点満点！。創刊号に感想と励ましの声続々

創刊号にしては百点満点！。

と思う。コツコツ続けて
いつてほしい。

の声続々
普段活字に慣れていない私が自分でもびっくりするくらい一面の文面を読み通しました！二面の
：もう聞き飽きました。

精神障がいを「心の風
センス、一面と四面で感じた。

創刊号にしては百点満点！ ◇

と思う。コツコツ続けて
いってほしい。

力使いたくありません。
：：もう聞き飽きました。
：だからといって、：自分もまだ何かやれるので
は？ といった雰囲気が
漂うのです」 「なるべく
人とかかわっていく手法
に変えました」 などすん
なり入りました。

するくらい一面の文面を読み通しました！二面のミスター・エックスさんの最後の一文で心つかました。三面のイラストは、細かいところも見て取れるこのサイズに、編集長のおもいを感じました。金光さんのイラス

精神障がいを「心の風邪」と表現されるところに当事者を遠ざけないでほしいという想いがあらためて、同じ地域に住む人間として環境づくりをする必要があるなあと考えました。等々！

たいと編集部では考えます。いくらぶんでも構いません。賛同される方は、ご協力お待ちします。

最後に今、世界が大変な状況でこんな形で発行してよいものか本当に悩みました。みなさまのご健康を祈り世界平和で。